

令和 4 年 5 月 9 日

塩尻市総合計画審議会 会長 様

塩尻市長 小 口 利 幸

第六次塩尻市総合計画の策定について（諮問）

本市では、平成 27 年度から令和 5 年度までを計画期間とし、重点政策等を明示し社会情勢の変化に機敏に対応する「第五次塩尻市総合計画」により、目指す都市像「確かな暮らし 未来につなぐ田園都市」の実現に向けた取り組みを進めてきました。

この間、人口減少・少子高齢社会が本格化するとともに、新型コロナウイルス感染症のようなパンデミック、気候変動による自然災害の頻発や激化、デジタル技術活用による社会変革の加速化など、市民生活や塩尻市を取り巻く環境や経済社会情勢の変化は大きく、見通しが極めて難しい時代に入っています。

こうした変化は今後も一層大きく激しく、厳しさが増すことを踏まえ、長期的かつ戦略的な視点に立って本市が目指すべき姿と、その実現に向けた基本的な取り組みを明確に示した総合計画を策定し、限られた行政の経営資源等を有効に活用しながら、持続可能であり、市民や本市に関わる多様な主体が誇りと愛着を持つ塩尻市を創っていく必要があります。

社会構造等の変化に柔軟に対応し、行政経営をはじめ市民等との協働・共創の判断基準や行動指針となるよう、第六次塩尻市総合計画を策定するために、塩尻市総合計画審議会条例第 2 条の規定により、貴審議会の意見を求めます。